

西秋留保育園の管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	西秋留保育園
	所在地	あきる野市上代継 3 0 0 番地
	所管課	健康福祉部児童課保育係（内線） 2 6 5 1
指定管理者	名 称	社会福祉法人 秋川あすなろ会
	所在地	あきる野市原小宮二丁目 6 番地 6
	業務内容	①保育園の保育事業 ②保育園の維持・管理
ホームページ URL		http://www.a-asunaro.com/nishiakiru/
指 定 期 間		平成 1 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 3 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	(平成 17 年度)	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
在籍児童数 (人)	1,462	1,364	1,356	1,379	1,417	1,423
前年度比 (人)		△98	△8	23	38	6
前年度比 (%)		93.3	99.4	101.7	102.8	100.4

3 施設の収支状況について

(単位：円)

項 目		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
収 入	指定管理料	169,947,975	170,301,091	170,253,015	179,161,320	177,722,318
	利用料金	2,550,600	3,118,750	1,922,100	1,680,250	1,632,500
	その他の収入	5,061,504	5,957,601	6,748,227	5,133,663	6,899,341
	計	177,560,079	179,377,442	178,923,342	185,975,233	186,254,159
支 出	維持管理経費	153,394,631	167,383,604	167,547,317	161,679,114	175,115,803
	その他	24,000,000	11,900,000	11,300,000	24,200,000	11,000,000
	計	177,394,631	179,283,604	178,847,317	185,879,114	186,115,803
当期末支払資金残高		165,448	93,838	76,025	96,119	138,356

※ 当期末支払資金残高については、次年度以降の運営経費に使われます。

4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
保護者への対応にて、「お母さん、仕事は休みですよ」の問い合わせが、「休みなのに子どもを預けているのか？」と言われていたようで嫌だと言う意見が園へ寄せられた。	対応の悪さを謝罪すると共に、悪気ではなく、何かあった時の連絡先が家（職場ではない）で良いのかの確認である事等伝える。職員に対しては、会議で言葉のかけ方に注意し、意思を丁寧に伝えるよう指導した。
祖父母が迎えに来た際、お迎え予定を「母」と記していたため、児童をすぐに渡してもらえない。家族なら引き渡しても良いのではないかという意見があった。	連れ去りや家族間の行き違い等の防止のため、お迎え予定者に確認の後、児童を引き渡しているため、面倒でもお迎え予定の欄に「母、祖父母」等記入していただきたい事、お迎えの人が変わった時は一報入れてくださるよう、お願いし理解を求めた。

5 利用者満足度の把握について

把握方法	全園児に連絡帳を配布し、家庭と園との意思疎通、情報交換を密にし、必要な内容は記録の上、保管している。
調査結果	日々の保育や行事等については、多くの保護者より感想や意見が寄せられ、保育内容や方針等への理解も得られており、おおむね良好であると思われる。 平成23年度に第三者評価を受審の予定である。

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
園庭や近隣の畑を借りての野菜、果物の栽培を通じた食育活動を行っている。 地産地消の考えを取り入れ、給食食材に地場産や、園で栽培した物を多く活用している。	実体験を通じて食にかかわり、心身共に成長することができる。安心安全で旬の物を提供することができる。食材費削減、地域経済活性化、温室効果ガス削減等に貢献している。
入園説明会や父母会の開催時期や方法を変え、保護者の負担軽減と、相互理解に努めた。 父母会では試食として、おやつ等を提供する事とした。	一方的に伝えるだけではなく、座談会のような父母会を行うことで、保護者同士の情報交換にもなっている。また、園のおやつ等の試食の場で季節のものを一品出す事で、食への取組への理解も深まった。

7 総合評価

指定管理者の評価

平成22年度においても、順調に事業運営する事ができた。

旧態依然で慣例に従って行っている事柄を、一つ一つ意義を問い直し、保護者の意見等を取り入れながら守るべき事はその意義の確認に努め、変えるべき事は変えるといった活動に力を入れた一年であった。猛暑や震災等、自然の厳しさを思い知った年度であった。特に年度末の震災では大人、子どもにかかわらず不安な日々がありましたが、無事に年度を終える事ができ幸いであった。

設置者（所管課）の評価

西秋留保育園の運営については、22年度をもって終了となるが、指定管理の期間中、特に大きな問題も無く、23年3月の大地震の際も特段の被害も発生しておらず、園長はじめ保育士等の職員が一生懸命、保育に取り組んでいた結果であると評価している。

今後も引き続き、保護者との信頼を大切にし、よい保育を行ってほしい。